

- ② 複合施設の基本設計決まる
- ③ 障害福祉サービスを充実
- ④-⑤ **特集**  
毛利台小学校のインクルーシブ教育  
垣根のない学校
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



チョコレートを固めた後、店頭で並べる



作業場から店内の様子が見える



誰でも分かるように作られた工程表



職員のサポートを受けながら作業を進める宮本さん（左）

## 皆で支え合う

色とりどりに包装されたチョコレートが並び、甘い香りがほんのり漂う店内から、ガラス越しに商品を作る人の姿が見えます。真剣なまなざしで、乾燥させた果物一つ一つにチョコレートをつけるのは、宮本仁志さん（29・愛甲東）。オープン当初から、福祉施設が営むこの菓子店で働いています。

「普段は口数が多くないけれど、オープンした時に作業場から見える店内を見て『お客さん多いね』とうれしそうに話してくれたんです」。作業に寄り添う所長の原崎知之さん（43）は、頬を緩めます。

店舗には、障害のある方が6人が通い、日々菓子作りに励んでいます。苦手なことを補えるよう、工程表には写真を付けて平仮名で書くなど、少しでも働きやすくするための工夫が凝らされています。

12月3～9日は障害者週間です。誰もが暮らしやすい社会をつくるため、一人一人に何ができるのか考えてみませんか。

《3～5面に関連記事》  
障がい福祉課 ☎25-2221

### 12月3～9日は「障害者週間」

障害への関心や理解を深め、障害のある方のさまざまな活動参加を促進する週間です。

#### ■私たちにできることは？

障害の状況により必要とする支援の内容が異なります。手伝えることがないか声を掛け、相手の意思を尊重した適切なサポートをすることが大切です。

障がい福祉課 ☎25-2221

#### 障がい者雇用奨励交付金で就労サポート

障害のある方の雇用の安定と促進のため、市内中小企業に補助金を交付しています。

産業振興課 ☎25-2585

Q Zoom Up

交流と活動が生まれる場所に

# 複合施設の基本設計決まる

厚木バスセンター東側の中町第2-2地区で、新たな複合施設の建設計画が進んでいます。9月には、建物の配置や規模、工事工程などをまとめた基本設計が完了。中心市街地の魅力向上やにぎわい創出に向け、計画を進めています。

中町第2-2地区は交通の利便性が高く、公共施設や商業施設が多くあります。市街地のにぎわいの中心としての活用が検討されながらも、20年間、駐車場としての暫定利用が続いていました。一方、1971年に建てられた市庁舎をはじめとした市や県の施設が更新の時期を迎えており、2018年に、中町第2-2地区に庁舎機能を持った新しい複合施設の建設が決定。22年9月には、基本設計がまとまりました。

## 複合化で交流を生む

基本設計は、検討段階から続けてきた市民の皆さんとの意見交換などを踏まえ、安全・便利に利用できるよう、周辺施設との連携や、配置・動線計画などを盛り込んでいます。

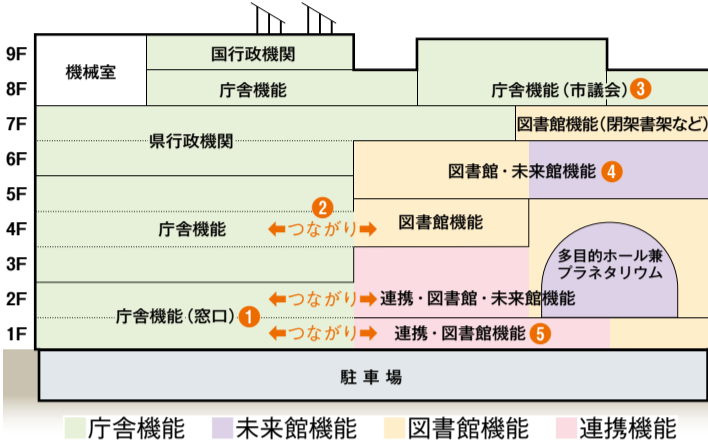
た市民の皆さんとの意見交換などを踏まえ、安全・便利に利用できるよう、周辺施設との連携や、配置・動線計画などを盛り込んでいます。

複合施設は、市庁舎や図書館、現在の子ども科学館(未来館)に加え、国・県施設の機能も持った施設として整備されます(左欄参照)。基本方針(右欄参照)に沿って、利用者が集い、

交流の場としても活用できる「広場的スペース」を低層部(1・2階)に設置します。複合化で、今まで出会う機会の少なかった人たちが交流し、新たなアイデアや相乗効果、創造的な市民活動が生まれる場をつくるためです。10月の説明会に参加した坂本一真さん(21・元町)は「市民活動を活発にし、市が発展していくための重要な施設。どんなものが建ち、どんなふうに使われるのか、今から楽しみ」と期待を寄せます。



敷地南面からの建物(イメージ。変更の可能性あり)



- ① 低層部に窓口機能を置き、利便性を高める
- ② 庁舎機能と広場機能をつなぎ、交流・活動を創出
- ③ 気軽に傍聴しやすいよう、市議会を市民の利用が多い広場機能(連携・図書館・未来館機能)の上部に配置
- ④ 図書館と未来館を融合させ、相乗効果を創出
- ⑤ 人の出入りが多い連携・図書館機能を導入部として配置

## 災害に強く環境に優しい

建物は、水害時の浸水を防ぐため、1階部分の床を高く設定。被害を最小限にするため、災害対策本部や電気室は想定される浸水深より高い場所に設置し、災害に強い建物とする計画です。太陽光発電や地中熱などの再生可能エネルギーを導入することで、環境にも優しい施設となります。

新施設は、皆さんが気軽に立ち寄り、充実した時間を過ごせる居場所となることを目指しています。今後は、基本設計を踏まえ、26年度の建物完成、27年度の供用開始に向け、実施設計・施工業務を進めていきます。

問 市街地整備課 ☎225-2470

## ■複合施設整備の基本方針■

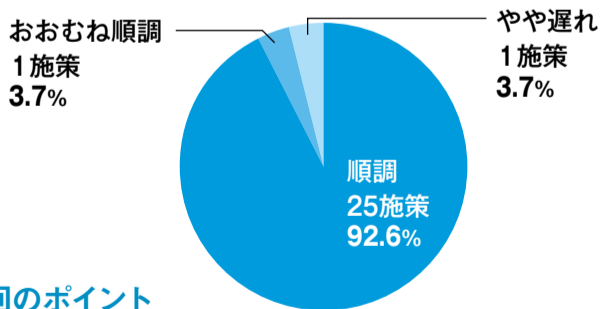
- 1 誰もが訪れやすく、一人一人に合わせたサービスを提供する施設
- 2 あらゆる世代の皆様にとっての居場所や気付きの場となる施設
- 3 複合化によるメリットを生かし、絶え間ない交流・活動が生まれる施設
- 4 将来の変化に柔軟に対応し、長きにわたり利用することができる施設
- 5 中心市街地のシンボルとして誇りと愛着を感じることができる施設



## まちづくりの進捗をはかる 施策評価の結果

施策評価は、総合計画の進捗を検証する仕組みです。市民実感度調査の結果や保育施設への入所率、ごみの資源化率など、各施策の達成率を点数化し、4段階で評価します。結果はグラフのとおりで、遅れとなった施策はありませんでした。

問 企画政策課 ☎225-2455



### 今回のポイント

- ・第10次総合計画の初年度の取り組みを評価
- ・施策全体の9割以上が順調
- ・市民実感度調査では新たに実感度・行動変容・幸福度の項目を追加
- ・実感度は、2020年度調査と比べて77項目中63項目で上昇。特に高かったのは「日常生活に必要な施設が身近にある」「消防・救急・救助体制の充実」「子育てサービスの充実」
- ・行動変容の実績値は、27項目中22項目で上昇
- ・幸福度は、「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計が94.2%となり、0.6ポイント上昇

## 市の事業を市民らが評価する 外部評価の結果

市民の皆さんと学識経験者が市の事業を評価する外部評価の結果がまとまりました。結果に基づき、事業の改善などを進めます。

評価	事業名
拡大	親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金
現行どおり	コミュニティ保育推進事業補助金
要改善	高齢者継続雇用奨励補助金／スポーツ協会補助金／スポーツ推進事業補助金／生きがいセンター維持管理事業費・維持補修事業費
廃止	情報プラザ維持管理事業費

※詳しくは市ホームページに掲載。問 行政経営課 ☎225-2160



あつぎ 元気Wave  
12/1~CATVで放送

障がい者相談支援センターでは、障害福祉サービスの利用や、子どもの発達・医療的ケアに関することなど、さまざまな相談を受け付けている

### 地域での身近な相談役

民生委員・児童委員が、障害のある方や高齢者、子どもなどの諸問題の相談を受けています。お住まいの区域の委員の氏名や連絡先などはお問い合わせください。

☎福祉総務課 ☎225-2200

### 役立つ情報が満載 障害福祉制度の 冊子を配布中

障害のある方やその家族が利用できる福祉サービスをまとめた冊子を配布しています。

《内容》 支援・相談窓口・手当などの情報  
《配布場所》 障がい福祉課、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所

☎障がい福祉課 ☎225-2221



市HPにも掲載

## Zoom Up

# 誰もが住みやすい社会に 障害福祉サービスを充実

市では、障害の有無に関わらず互いを尊重し、共に生きる社会を実現できるよう、障害への理解の促進や相談支援体制の整備などに取り組んでいます。4月からは新たに、地域に根差した相談窓口を増設しました。

### 気軽に相談できる窓口を充実

障害のある方が地域で安心して生活できるよう、2016年から障がい者相談支援センターを設置し、日常生活の不安や悩みなどの相談を受け付けています。最近では感染症の影響で生活や就労などの不安を抱える方が増え、相談窓口の需要は年々増加傾向にあります。21年度の市障害者支援相談件数は4万3214件で、前年度より約7千件増えました。市ではこうした状況を受け、4月から障害のある方や家族を身近な場所で支援する障がい者相談支援センターを増設しました。

既存の6カ所に加え、新たに増設したのは「相川・厚木南」と「睦合」の2カ所。各センターの相談員も1人ずつ増員しました。地域の相談窓口を増やすことで、市役所に行くのが困難な方も身近な場所で相談できる環境を整えました。相川・厚木南障がい者相談支援センター職員「堺桂一朗さん(41)」は「開設してまだ半年ほどだが、地域の皆さんとのつながりが徐々に増えている。今後も気軽に立ち寄って相談で

### 地域でのメンタルをサポート

誰もが住みやすい社会にするためには、地域で声を掛け合い、相談内容に応じて適切な窓口や機関につなげることも重要です。各地域の民生委員は、日頃から住民の相談に応じ、見守り活動をしています(左上欄参照)。視覚障害者に点字や音声で情報提供するボランティア団体もあります。市ではこうした地域で活動する委員や団体をサポートし、支援の輪を広げています。

障がい福祉課 ☎25-2221

発達に心配のある児童の相談を受け付ける児童発達支援センター「ひよこ園」や、企業・団体が障害者就労施設に業務を依頼する際の仲介役となる「てとて」など、ライフステージに沿った窓口を設置し、誰もが暮らしやすいまちへの取り組みを進めています。

### 障害者週間イベント

## 手作り製品の 展示・即売会

市内の事業所で働く皆さんの手作り製品を手にとってみませんか。

- 《日時》 12月5~8日 10時30分~14時
- 《場所》 市役所本庁舎
- 《内容》 市内の事業所で働く障害のある方が作ったアクセサリー・ポストカードなどの展示・販売

☎当日直接会場へ。製品は市まるごとショップ「あつまる」でも販売。

詳細はこちら

### 障がい者作品展示コーナーがリニューアル

12月1日から作品の一部が入れ替わり、展示コーナーが生まれ変わります。手作り製品は直接購入もできます。

- 《展示時間》 10~19時
- 《展示場所》 市まるごとショップ「あつまる」

☎障がい福祉課 ☎225-2221

## 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種情報

※情報は11月15日時点

接種券が手元にあり希望する方は予約してください。インフルエンザワクチンと同時接種が可能です。

☎ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

### ■オミクロン株対応ワクチン接種

《対象》 12歳以上で初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方

#### 《ワクチンの種類》

- 個別接種 ファイザー社製
- 集団接種 ファイザー社製・モデルナ社製

※予約方法や実施医療機関、接種券の発送時期などの詳細は市HPに掲載。

オミクロン株  
対応ワクチン接種

### ■ノババックスの3~5回目接種

市内の4医療機関で実施  
《対象》 18歳以上で最終接種日から6カ月経過した方  
※11月8日以降にノババックスの3~5回目接種した方は、オミクロン株対応ワクチンを接種できません。

ノババックスの  
3~5回目接種

### ■12歳以上の初回接種

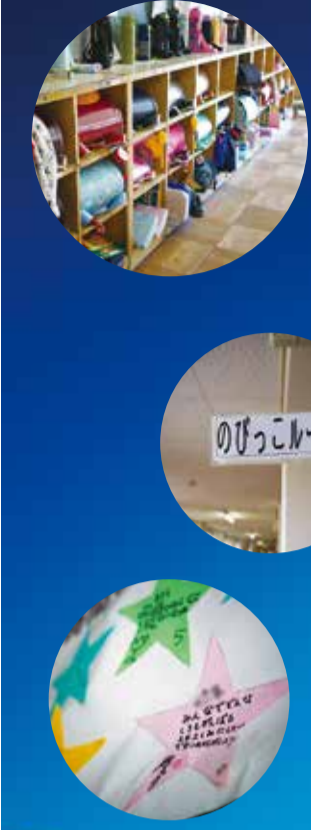
個別接種で実施中。初回接種後、オミクロン株対応ワクチンを希望する方は年内に接種してください。

# 垣根のない学校

みんなが共に学び、共に育つための学校をつくりたい。7年前に始まった毛利台小学校の取り組みが、文部科学大臣奨励賞を受賞しました。その日常に目をやると、学校だけでなく、誰もが過ごしやすい社会をつくるための芽が顔をのぞかせていました。



特集：毛利台小学校の  
インクルーシブ教育



☎教育指導課 ☎225-2660

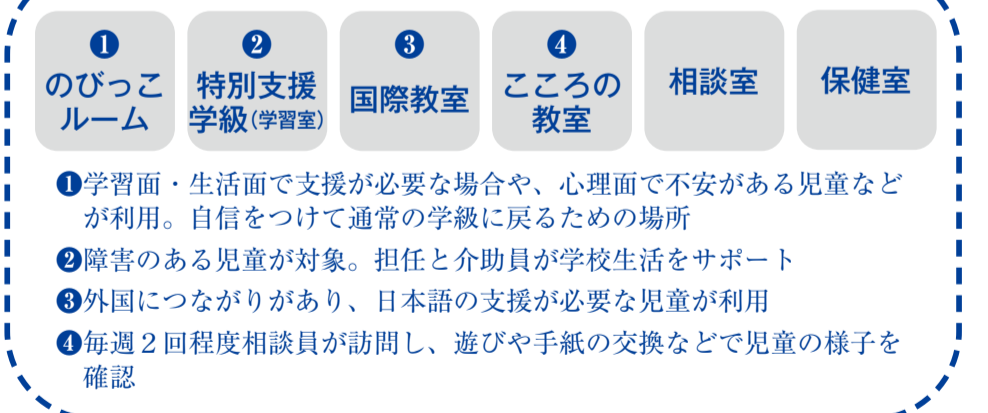
## 毛利台小学校インクルーシブ教育の仕組み

通常の学級  
(全児童が共に学び合える場)

活用

戻る

### みんなの教室



※市立小・中学校では、全校で学習室の児童が通常の学級の一員になっている他、学校の実情に合わせたみんなの教室を設けている

**【インクルーシブ教育とは】**  
全ての子どもが同じ場で共に学び、共に育つことを通して、互いを理解し、尊重し合う共生社会の実現を目指す教育。

**【毛利台小学校では】**  
全ての児童が「通常の学級」の一員。障害がある、外国につながりがある、人間関係づくりに課題があるなどの実情に合わせて、部分的に「みんなの教室」を利用し、通常の学級に戻る。みんなの教室を使った一人一人を大切に教育が評価され、全国の学校を対象とした第37回教育奨励賞で文部科学大臣奨励賞を受賞した。

2時間目の終わりを知らせるチャイムが鳴ると、一斉に子どもたちが校庭に駆け出してきました。15分間の業間休み。サッカーや鬼ごっこ、ジャンケルジムにバスケットボール。校庭のあちこちから笑い声が上がり、澄んだ空に広がっていきます。

した。特徴的なのは、みんなの教室の中に設けた「のびっこルーム(以下、のびっこ)」です。のびっこは、学習に不安のある児童が少人数で学び、自信を取り戻して通常の学級に戻るための場所です。校内の教育相談コーディネーターを務める榎木健太教諭は「初めは勉強のできない子が行く場所と捉える保護者や児童もいたけれど、今では『のびっこ行ってくるね』『行ってらっしゃい』と、気軽に行き来する場所になっている」と目を細めます。コロナ禍では、感染などで長く欠席した児童が休んでいた期間の学習をのびっこで補うなど、利用の幅も広がっています。子どもがのびっこを利用する小倉憲一さんは「学校にのびっこのような取り組みがあって、ありがたいと感じている。これからも学ぶ意欲を持ち続けてほしい」と話します。のびっこの運営に欠かせないのが、教員間での情報共有です。

毛利台では、みんなの教室を使ったインクルーシブ教育の開始当初から、全職員で取り組んできました。教員が変わる4月には、毛利台のインクルーシブ教育の仕組みを理解する機会を設け、「みんなが通常の学級にいる」という意識を全員で共有。みんなの教室の担当教諭と担任、教育相談コーディネーターらが、児童一人一人の様子を把握し、通常の学級で過ごすために必要なサポートを考え、工夫しています。加えて、みんなの教室での手法を通常の学級に生かし、全ての児童が学習・生活しやすい学級づくりに取り組んでいます。

米澤幸大さん(2年)も学習室を利用する一人。体育や図工、音楽、学級活動などは、学習室の担任などのサポートを受けながら、通常の学級でみんなと一緒に学んでいます。友達と関わるのが好きだといい幸大さん。一方で、コミュニケーションの取り方がうまくいかずストレスを感じることがある。体を動かすことや、音楽に合わせて踊ることが好き。おしゃべり好きという自分らしさをまだ出せていない」と話す母親の絵美さん。「学校でいろいろな人と関わる中で、うまくいかないこともあるけれど、みんなに幸大のことを知ってもらいたいし、幸大にもみんなのことを知ってほしい」と願っています。

学習室の児童を支えるのは、特別支援教育介助員。移動の介助や安全確保など、児童の個性を理解し、寄り添っています。国際教室を利用する児童に対しては、日本語指導協力が授業や生活をサポートしています(左欄参照)。毛利台で5年間介助員をしている鶴飼都さんは「自分の子どもに先天性の病気があり、学校にはお世話になった。恩返しのためにも、子どもたちの気持ちに寄り添いたいと思っています」と話します。



毎週、校長・教頭・教育相談コーディネーターらで開く会議

### 「のびっこ」に行ってくるね

毛利台でのインクルーシブ教育は2016年、県からモデル校に指定されたことをきっかけに始まりました。3年間で、「仕組みづくり」「みんなの教室と通常の学級の連携」「ユニバーサルデザイン化」を重点に取り組み、少しずつ定着させていきました。

「のびっこ」に行ってくるね

毛利台では、特別支援学級(以下、学習室)を利用する児童も、通常の学級の一員です。体や心の状態に合わせて、通常の学級と学習室を行き来しています。

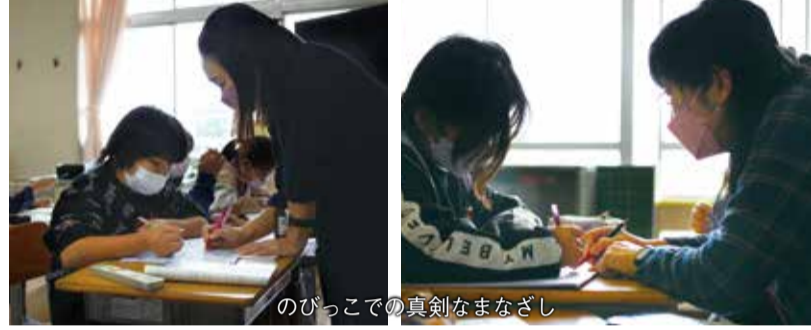
子どもがのびっこに行ってくるね

「みんなでつないで変えていく」

「のびっこにはみんなが自由に入り」



のびっこは少人数で一人一人に寄り添った授業を実施



のびっこでの真剣なまなざし



学習室の落ち着いた環境で給食を食べる米澤さん



体育ではみんな一緒に



サポートを受け授業に取り組む国際教室の児童



のびっこルームの予定表



のびっこで見せる生き生きとした表情



通常の学級で給食を受け取る

## 学校で子どもたちを支える方を募集

### ▶特別支援教育介助員 (特別に支援が必要な児童・生徒の介助)

勤務日時 週1~3日程度  
8時30分~15時45分(中学校は16時45分)  
時給 1075円(看護師は1565円)

### ▶日本語指導協力者

勤務時間 週3日以内  
1回2時間以内  
時給 3000円  
☎教育指導課 ☎225-2660

### ▶学力ステップアップ支援員 (教員の学習指導補助)

勤務時間 週2~4日程度  
1日5時間  
時給 1075円  
☎教職員課 ☎225-2602



市HPはこちら



## 子どもだけでなく 地域の未来のために 変えていく

国際協力機構(JICA)横浜センター  
技術顧問(多文化共生)  
滝坂 信一さん

毛利台小学校が県の「みんなの教室」モデル校になった2016年から、3年間一緒に取り組みました。こうした取り組みは、仕組みをつくって完成というものではありません。子どもたち、保護者、先生、地域の皆さんが、一緒に学ぶ仕組みを持った学校が大切だと実感し、継続して取り組み、文化として創っていくものです。特に、子どもたちの声を聞いていくことを欠かすことができません。

「インクルーシブ」は、「例外なく一人一人にとって暮らしやすい場所」をつくる取り組みです。嫌なことや苦手なこと、好きなことや得意なこと、それを伝え合い、分かち合い、一緒に工夫合っていくことが、誰にとっても安心して過ごせる学校を創ることにつながるのだと思います。子どもたちがそのような環境で学び育つことの向こうに、厚木という地域が「インクルーシブ」になっていくことをイメージできると思います。地域の皆で学校を創っていくことは、住みやすい地域づくりそのものでもあります。



のびっこにはみんなが自由に入り

「キーン、コン、カン、コン、コン」。始業を知らせるチャイムが雲一つない空に響き渡ると、子どもたちははくはくとした教室を伸び伸びと行き交います。今日も、垣根のない学校の日が始まりました。

### 3市町村が工事の無事を願う

ごみ中間処理施設の起工式を開催



工事は2025年11月までを予定

厚木市・愛川町・清川村の3市町村が共同で取り組む厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設の建設工事に向け、建設地の金田で、建設請負事業者による安全祈願祭と起工式が開催されました。起工式には、組合管理者の小林常良市長ら39人が参加し、工事の安全と建物の無事の完成を願いました。小林市長は「18年前の組合設立から今日を迎えられたのは、地域の皆さんの苦悩と決断あつてのこと。とても感慨深く、心から感謝を申し上げます。ごみ処理だけでなく、災害対策や憩いの場としても皆さんの生活に役立てるよう、組合として責任を持って進める」と力を込めました。新施設は、2025年度の稼働に向け整備を進めていきます。

### 秋空の厚木路を選手が力走

あつぎマラソンを開催



10\*コースは関門制限時間の緩和などで参加しやすい大会に

秋空の下、「2022あつぎマラソン」が荻野運動公園を発着点として3年ぶりに開催されました。市内外から選手977人が参加し、厚木路を力強く駆け抜けました。あつぎマラソンは、スポーツ交流の促進と生涯スポーツの推進を目的に市と教育委員会が主催し、今年で37回目。大会にはゲストラランナーとして、友好都市の秋田県横手市出身で、アテネパラリンピックマラソン競技の金メダリスト・高橋勇市さんが参加しました。男子・29歳以下の部で大会新記録を出した浅岡祐希さん（26・妻田南）は「あつぎマラソンに出るのは5回目。1位になったことはうれしいが、もつといいタイムを出したかった」と話しました。



### 帰ってきた厚木の風物詩

第76回あつぎ鮎まつりを3年ぶりに開催

親子で来ていた樋田尚美さん（33・東町）は「3年ぶりの鮎まつりでまちもにぎわい、わくわくしている。厚木はイベントが多く、よく参加していたので開催を待ち望んでいた。花火大会が楽しみ」と笑顔で話し、息子の竜之介くん（7）は「一人もたくさんいて楽しい。おいしいものをたくさん食べた」と祭りの開催を喜びました。



約300発に及ぶ仕掛け花火「大ナイアガラ」

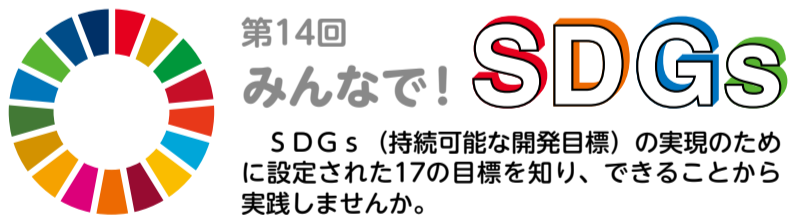
### 市街地全体がステージに

にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸を開催



迫力満点のパフォーマンスに見入る観客たち

にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸が11月の2日間、本厚木駅前北口広場や一番街通り、厚木中央公園など11カ所を舞台に開催されました。国内外から集まった一流の大道芸人30組が息をのむパフォーマンスを繰り広げ、街を訪れた人たちを楽しませました。厚木中央公園で高所でのアクロバットを披露したPerformer SYO!さんに観客らは、「高いところから落ちそうだよ。頑張つて」などの声を掛けるなど、イベントを満喫していました。本厚木駅前東口地下道では「CHIKAフェス」を実施。市の魅力を共有するハッシュタグ「ちなんだ」#nicetsugi「パーティー」を初めて開催し、巨大フォトスポットや投稿者による交流ブースなどにも多くの人が集いました。



第14回

みんなで!

SDGs

SDGs（持続可能な開発目標）の実現のために設定された17の目標を知り、できることから実践しませんか。

#### 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業と技術革新を進めるには、電気、ガス、水道などのインフラ基盤の整備が必要です。質が高く、災害などにも強いインフラを整え、みんなに役立つ安定した産業化を進めましょう。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



#### できる取り組みは？

##### 身近なインフラに目を向け、生活基盤を理解する

インフラを学び、供給の仕組みを知ることは、個人でできる取り組みの一つです。身の回りのインフラが、どのような形で私たちの生活を支えているのか、そしてどんな問題を抱えているのか理解を深めましょう。

##### 災害に備えて対策をする

災害時には、断水や停電などが発生することがあります。備蓄用の水やモバイルバッテリーなどを準備することは、自分自身を守るだけでなく、インフラの負荷を減らせるため、速やかな復旧につながります。

企画政策課 ☎225-2450

元気があれば、何でもできる。「ねりんピックかながわ2022」が11月12日から15日までの4日間、県内26市町を舞台に開催されました。34回目を迎えたねりんピックの正式名称は「全国健康福祉祭」。スポーツや文化など32種目の交流大会などを通じ、高齢者の健康や生きがいなどを高めることを目指したイベントです。

市内では、ラグビー・フットボールと健康マージャンで市民2人が選手宣誓



健康マージャンで市民2人が選手宣誓

「ねりんピックかながわ2022」が11月12日から15日までの4日間、県内26市町を舞台に開催されました。34回目を迎えたねりんピックの正式名称は「全国健康福祉祭」。スポーツや文化など32種目の交流大会などを通じ、高齢者の健康や生きがいなどを高めることを目指したイベントです。健康寿命をいかに延ばしていくかは、今を生きる私たちが抱える大きな課題です。好きなことを見つけ、その道を一心に追求することは健康長寿の秘訣となります。ねりんピックに多くの選手を送り出せるよう、誰もが生きがいを持って暮らし続けられるまちを築いてまいります。

# タウンガイド

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ☎=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 📍=講座予約システム(インターネットで申し込み可)  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「#niceatsugiパーティ」

#11月12日撮影  
 #新たな出会い  
 #交流ブース  
 #niceatsugi  
 市公式Instagramで公開中



### 第8波 感染対策の徹底を

感染の不安がある方、診療ができる医療機関の案内などは県の専用ダイヤル☎0570-056-774(24時間対応)へ。

☎健康長寿推進課☎225-2174



感染対策はこちら

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

### 斎場施設見学会

12月15日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☎12月1～14日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

### 親子でソーラークッキング

12月11日、10～12時。荻野公民館。太陽光で料理を作る調理器具を使いケーキを作る。小学5・6年生と保護者8組(1組2・3人)。1組2000円(材料費)。☎電話またはEメール、ファクスに〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、12月1～7日に環境政策課☎225-2749・☎223-1668・✉3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順。

### らくらく水中運動教室

12月21日～3月15日の水曜(全

12回。1月4日は除く)。10～12時。神奈中スイミング本厚木校。水中でのウォーキングやエクササイズ。市内在住の65歳以上20人。無料。☎直接、電話またはハガキに講座名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、12月9日(必着)までに〒243-8511介護福祉課☎225-2388へ。抽選。📍

### 市立病院看護補助者(会計年度任用職員)を募集

《職種》看護補助者《対象》心身共に健康な方《内容》病棟内の環境整備や食事の配膳などの補助業務《勤務時間》7～20時で4時間～7時間45分のシフト勤務(土・日曜、祝日のみも可)《報酬》時給1075円(地域手当含む)。☎12月31日までに病院総務課☎221-1570へ。面接あり。

## 科学の世界にワクワクしよう! サイエンスウインター2022

子ども科学館に、科学の達人が大集結。工作や実験、展示を通じて、科学の魅力に触れてみませんか。

《日時》12月4日 10～16時

《場所》神奈川工科大学厚木市子ども科学館



#### ■厚木おもちゃ病院

- ①クリップと磁石を使ってモーターを作る
- ②紙を使って星型の飛行機を作る

#### ■FMカオン・アマチュア無線クラブ

免許不要無線機で交信や航空無線の受信体験

#### ■県立青少年センター科学部

風船や空き缶など使った不思議な水蒸気の実験

#### ■神奈川工科大学

身の回りの家電製品を解体して仕組みを観察

#### ■厚木高等学校

子ども科学入門(実験や工作などを通し、科学の楽しさを知る)

#### ■マイティ(TRIZ)

- ①電磁石のコイルを使って弾丸となる物体を加速・発射するガウス銃を作成
- ②さまざまな発明の原理を特製玩具を使って体験

いずれも無料。☎当日直接会場へ。先着順。



詳しくはこちら

☎子ども科学館☎221-4152

### 市長選挙立候補予定者 事前説明会

1月6日、13時30分～15時30分。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。立候補に必要な書類を配布。☎選挙管理委員会事務局☎225-2490。

### 12月4～10日は人権週間

「人権」は、誰もが生まれながらに持っている権利で、幸せに生きるために等しく尊重されるべきものです。人権の大切さを考えてみましょう。☎市民協働推進課☎225-2215。

### あつぎ郷土博物館の臨時休館

施設のくん蒸などのため、12月5日、12～17日は休館します。敷地内も立ち入り禁止。☎あつぎ郷土博物館☎225-2515。



### 社会保険料控除の対象となる保険料額の通知

2022年中に納めた①国民健康保険料②後期高齢者医療保険料③介護保険料は、所得税や市・県民税の申告時に社会保険料控除の対象です。対象者には1月中旬にハガ

キを発送。☎①国保年金課☎225-2123②☎225-2223③介護福祉課☎225-2393。

### 年末の片付けは計画的に

清掃後に出たごみは分別して集積所へ。環境センターに持ち込めるのは、粗大ごみとせん定枝です。粗大ごみの戸別収集や環境センターへの持ち込みは事前予約制。☎環境事業課☎225-2790。

### 民生委員・児童委員を委嘱

市内の民生委員・児童委員275人が12月1日付で厚生労働大臣から委嘱を受けました。☎福祉総務課☎225-2200。



### 《パブリックコメント》

- 子どもの医療費助成に関する条例・施行規則の一部改正  
☎子育て給付課☎225-2230
- 第4次男女共同参画計画の策定  
☎市民協働推進課☎225-2215
- カーボンニュートラルロードマップ策定・地球温暖化対策実行計画改定  
☎環境政策課☎225-2749

いずれも《閲覧期間》12月1日～1月4日《閲覧場所》各課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、あつぎ市民交流プラザ、中央図書館、保健福祉センター、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

買い回りでノベルティをもらおう

## あつぎ 買うカウ キャンペーン

大型店と商店会が協力し、市内店舗で買い回りを楽しめるキャンペーンを実施します。

☎商業にぎわい課☎225-2840

《期間》12月3～18日

《参加方法》

- ①個店で買い物してチケットをもらう
- ②大型店で買い物してレシートをもらう

- ①②をサービスカウンターを持って行きノベルティと交換 ※交換は先着順
- ※サービスカウンターは大型店(アミューあつぎ、イオン厚木店、本厚木ミロード、ヨークフーズ厚木店)



対象店舗・ノベルティの詳細などはこちら

### ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

### 11月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆市内に移り住んで50年。皆さんの意見に共感でき、ほほ笑ましくなった/60代男性 ◆写真を見てまだ知らない所へ行ってみたくと思った/40代女性 ◆まちの魅力が市民の声で読めてよかった/30代女性 ◆厚木に住んで20年ほど経つが、年々住みやすくなっている。今後の発展にも期待したい/70代以上男性 ◆消防団の大切さが分かった/40代女性 ◆地下道でにぎやかなイベントが開催されるのが楽しみ/70代以上男性

### 編集後記

毛利台小学校の取材に協力していただいた皆さん、ありがとうございました。撮影の了承を頂いたのに掲載できなかった写真が多くあり、心苦しく思っています。私の子どもは市立小学校の特別支援学級にいます。苦手なことはたくさんありますが、いいところや得意なこともいっぱいあります。撮影では、子どもたちのできるだけ良い表情を写真に収めたいと思い、カメラのレンズを向けました/橋本

## 交通ルールを厳守

# 年末の交通事故に注意

12月は交通量や飲酒の機会が増え、交通事故が多く起こります。一人一人が交通ルールを守り、マナーの向上に取り組みましょう。☎交通安全課 ☎225-2760

### ■歩行者

- ・夜間に外出する時は明るい服装や反射材を身に付ける
- ・道路を渡る際の安全確認を徹底

### ■車の運転者

- ・夕暮れ時は早めにライトを点灯
- ・飲酒を伴う会食には車で行かない
- ・運転する人には絶対にお酒を飲ませない

### ■自転車

- ・車道の左側を通行
- ・交差点では信号と一時停止を守る
- ・ヘルメットを着用し、夜間はライトを点灯
- ・飲酒をしたら乗らない



## 出かける前は火の元を確認

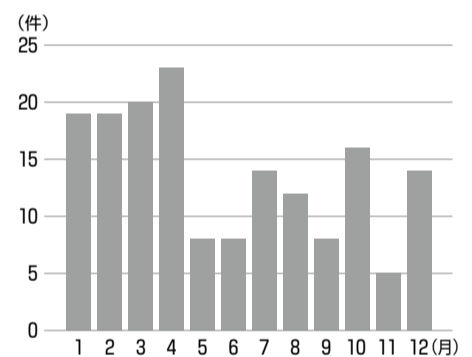
# 命を守る火災予防

12月25～31日は消防署と消防団が歳末火災特別警戒を実施します。期間中は警備体制を強化し、消防車両で巡回します。

☎警防課 ☎223-9368



過去3年間合計の月別火災件数



### 暖房器具の使用は特に注意が必要

警防課 高澤 浩二 (43)

冬は空気の乾燥に加え、暖房器具を使う機会が多くなり、火災が増える季節です。特に年末は慌ただしくなるので、ガスコンロなどの火の元から離れない、外出するときは暖房器具を消すなどの注意が必要です。

また、火災の備えとして、住宅用火災警報器の点検や燃え広がりにくい防災カーテンなどの使用も有効です。

## 自然歳時記

### ● エナガの飛翔 ● エナガ科

綿の塊のようなかわいらしいエナガは全長13.5センチほど。小さな体に負けないエネルギーギッシュな動きで素早く移動する。冬が近づくと混群を作り生活する/ぼうさいの丘公園の雑木林で見つけた。 写真・文/吉田文雄



「ジュリジュリ、ジクジク、チーチー、ギーギー」と、にぎやかな声が聞こえてきた。エナガ、シジュウカラ、メジロ、コゲラなど、異なる種類が混じって群れる混群である。エナガは、7センチぐらいの長い尾が目立つが、重さは6～9グラムほどしかない。口は7ミリほどで細い枝先の

小さな虫やクモを食べて生活している。混群の利点は、違う種類の鳥たちが他の鳥の食事や生活の様子を見てまねられることや、危険の合図を共有できることだ。

目の前のエナガが、か細い声で鳴き交わし飛翔する美しさに、時がたつのをすっかり忘れてしまった。

厚木市の人口  
(11月1日現在)

🏠 世帯数 10万3482世帯 (前月比71世帯増)

👤 人口 22万4049人 (前月比46人減) 男11万5351人・女10万8698人